

登録コード	A4C06200	開講年度	2026			
授業科目	野生動物学				担当教員	池田 敬
英文授業名	Wildlife Management Science					
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生
講義室	農学部 2 4 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 0 2 5 Aカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】2. 【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				⇔	野生動物の生態について理解し、保護管理の現場における課題に対する改善点を説明できる。
	【2025年度以降カリキュラム対象】3. 【情報分析・発信力】論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				⇔	野生動物の生態について理解し、保護管理の現場における課題に対する改善点を説明できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	野生動物管理に関する最新の情報を紹介しながら講義を進める。具体的には、野生動物管理における研究や民間企業の位置づけ、野生動物管理の現状、大型哺乳類の各種の生態と個体数管理の課題を提示しながらアウトラインを説明する。その上で、信州の地で特徴的な内容である、国立公園での野生動物管理とその具体的な対策事例、山岳環境における野生動物の生態や保全に関する内容を紹介する。最後に、これまでの内容を踏まえて、特定の課題に対するグループワークと議論を実施し、レポートを作成する。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：野生動物管理に貢献する研究とは（1回目） 第3回：野生動物管理に貢献する研究とは（2回目） 第4回：日本における野生動物管理の現状 第5回：野生動物の生態と管理（ニホンジカ） 第6回：野生動物の生態と管理（イノシシ） 第7回：野生動物の生態と管理（ツキノワグマ） 第8回：野生動物の生態と管理（ニホンカモシカ） 第9回：野生動物管理における実務の役割※ 第10回：国立公園における野生動物管理 第11回：北海道洞爺湖中島から見るシカの影響とシカ対策 第12回：山岳環境における野生動物管理 第13回：野生動物管理に関する特定課題のグループワークと議論 第14回：野生動物管理に関する特定課題のグループワークと議論 第15回：野生動物管理に関する特定課題の発表と授業アンケート 第16回：期末試験 ※第9回については、ゲストスピーカーの都合により、違う回に変更の可能性あり。					
(6)自主学習の指針	事前に授業で行う範囲について、教科書、参考書、資料などで自主学習して下さい。					
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない（59点以下）					
(8)事前事後学習の内容	毎回、講義資料を配布します。それを基に、事前学習、事後学習して下さい。					
(9)テストやレポートの予定	授業の出席を確認するため、小レポートを毎回作成してもらいます。 期末試験は、授業に関連した課題レポートを提出してもらいます					
(10)成績評価の方法	成績は、毎回の小レポートと期末試験で成績を評価します。 59点以下の場合には単位は認定しません。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問等は、メールあるいは毎回の小レポートで受け付けます。 ikedat_al3@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	講義中は私語、居眠りに気を付け、配布資料だけでは説明しきれない、口頭での説明内容をしっかり書き留めてください。 授業は15回受けることが原則です。 2/3以上の出席がない人は、成績の評価ができませんので、出欠席回数には各自、十分留意してください。					
【教科書】	特になし					
【参考書】	野生動物管理システム（東京大学出版会）、野生動物管理のための狩猟学（朝倉書店）、野生動物の管理システム（講談社）					